

# 小野市議会だより

Ono city assembly



秋の運動会  
みんなが主役!!

## 第375回 9月定例会

### 一般質問

- |                   |                    |                   |
|-------------------|--------------------|-------------------|
| かわしまみな<br>・河島三奈   | まつもとひであき<br>・松本英昭  | ふじわらあきら<br>・藤原章   |
| やまなかおさみ<br>・山中修己  | ふじもとしゅうぞう<br>・藤本修造 | たかさかじゅんこ<br>・高坂純子 |
| おかしままさあき<br>・岡嶋正昭 | なかいすみお<br>・中井澄夫    | たけうちおさむ<br>・竹内修   |

■ ■ ■ 議会傍聴 ■ ■ ■

9月定例会 63人〔23年度累計 215人〕

## 9月定例会終わる

- こんなことが決まりました …… 2～3  
一般質問の発言者 …… 4  
一般質問の内容について …… 5～9  
議会の傍聴にお越しく下さい …… 9  
常任委員会の審査報告 …… 10  
平成22年度決算報告 …… 11  
議会の動き …… 12



# 9月定例会

## こんなことが決まりました。

9月定例会は、9月2日から9月30日まで29日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定及び人事案件などを含む議案18件を原案のとおり、認定・可決・同意するとともに、意見書1件を可決しました。

### 制定された条例

**小野市やすらぎ広場の設置及び管理に関する条例の制定について**

小野市と公募事業者との共同事業としてやすらぎ広場にセレモニーホールを整備する旨を明確化し、やすらぎ広場の貸付け及び管理に関する事項を定めようとするもの。

**小野市北条鉄道経営対策事業基金条例の制定について**

北条鉄道株式会社社の経営安定に資するため、同社が毎年納付する固定資産税相当額を基金として積み立て、同社に対して必要な場合は当該基金から助成を行うための基金を設置しようとするもの。

### 一部改正された条例

**小野市税条例等の一部を改正する条例の制定について**

地方税法等の一部を改正するため

の法律が平成23年6月30日に公布されたことにあわせ、寄附金税額控除の適用下限額の引き下げ、不申告に対する過料の引き上げ等の措置を講ずるための改正を行うものとするもの。

**小野市開発事業に係る調整及び地域のまちづくりの推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

条例施行後3年を経過し、運用上の課題解決のため、建築物の用途変更、屋外広告物に関する規制、開発事業区域における道路幅員の見直しのための改正を行うものとするもの。

**小野市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

現在、小野市民病院の診療科目は15診療科あるが、血液内科を新たに診療科目に加えようとするもの。

**委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

「スポーツ振興法」が「スポーツ基

### 主な議案

#### 土地の取得について

新都市中央線道路改良事業用地とするため、土地を取得しようとするもの。

所在地 小野市池尻町（5筆）  
面積 25,941.94㎡

#### 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

現委員の石井滋規氏の任期が、平成24年3月31日で満了となるため、その後任として、石井滋規氏を再任の委員として推薦するため。

#### 土地の取得について

安全安心まちづくり広場整備事業用地とするため、土地を取得しようとするもの。

所在地 小野市中島町（4筆）  
面積 5,557㎡

### 意見書関係

**公契約法の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保を求める意見書**

この意見書は、採決の結果可決されました。

意見書の内容については、小野市



議会ホームページに掲載しています。

補正予算関係議案

平成23年度小野市一般会計補正予算(第3号)  
 補正額 524,000千円 追加  
 補正後総額 2,007,200千円

平成23年度小野市介護保険特別会計補正予算(第1号)  
 補正額 24,720千円 追加  
 補正後総額 3,031,720千円

平成23年度小野市都市開発事業会計補正予算(第1号)  
 資本的収入  
 補正額 26,800千円 追加  
 補正後総額 41,900千円

資本的支出  
 補正額 26,800千円 追加  
 補正後総額 104,900千円

平成23年度小野市一般会計補正予算(第4号)  
 補正額 220,000千円 追加  
 補正後総額 2,292,600千円



今回の補正予算は、民間資金を活用し、官民共同で取り組むセレモニーホール整備事業費のほか、市民力を高める高齢者等地域活動拠点づくりモデル事業補助金の増額、新都市中央線整備事業費及び農業基盤整備に向けた農地・水・環境向上活動支援事業負担金の増額等です。この他に、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、安全安心まちづくり広場整備事業費を追加補正しました。

平成23年度 一般会計9月補正予算概要

(単位:千円)

内 容	担当課	補正額	補正後
新規 セレモニーホール整備事業	総合政策部	300,000	300,000
新規 北条鉄道経営対策事業基金積立金	総合政策部	700	700
新規 北条鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 レール、軌道道床、踏切保安設備、車両改修等への助成	総合政策部	481	481
新規 高齢者等地域活動拠点づくりモデル事業 補助採択件数の増に対応するため	市民サービス課	12,000	32,000
追加 地域支援体制事業 要援護者管理システムに地図機能等を追加	高齢介護課	2,750	18,750
追加 播磨内陸医務事業組合負担金 播磨看護専門学校生への修学資金貸与制度負担金	健康課	1,019	15,692
追加 日本脳炎予防接種経費 5歳～9歳の積極勧奨再開(予防接種実施規則改正)による	健康課	14,262	33,262
新規 新都市中央線整備事業	道路河川課	140,000	441,600
新規 県単独緊急ため池整備事業 上の池堤体改修(久保木町)	産業課	4,700	4,700
追加 農地・水・環境保全向上活動支援事業 農業施設の長寿化のための改修、更新 33組織	産業課	13,000	36,714
新規 むらづくり交付金事業 むらづくり交付金事業Ⅱ期に向けての調査設計	産業課	3,000	3,000
新規 戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業 農業用排水施設改修による洪水時の安全確保	産業課	6,000	6,000
新規 安全安心まちづくり広場整備事業	総合政策部	220,000	220,000

一般会計補正予算の主な内容



(鍛溪神社の秋祭り)

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

# 平成23年 9月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

## 一般質問発言者

### 河島三奈議員

- ・就学前教育について
- ・神戸電鉄の今後について

### 松本英昭議員

- ・高齢者対策について
- ・老人クラブ補助金の見直しについて
- ・自転車通学の安全対策について
- ・東条川の河川改修のその後について

### 藤原章議員

- ・自然エネルギーの普及について
- ・放課後の児童の見守りについて

### 山中修己議員

- ・「空き家・廃屋対策」について
- ・小野市で行われたプロゴルフ大会の成果について

### 藤本修造議員

- ・小野市民病院について
- ・「おの夢と希望の教育」について
- ・第34回小野まつりについて

### 高坂純子議員

- ・女性特有のがん検診の受診率向上について
- ・神戸電鉄粟生線存続について

### 岡嶋正昭議員

- ・総合計画の「基本構想」について
- ・「おのブランド」の取組みについて
- ・セレモニーホールについて

### 中井澄夫議員

- ・「道路グリーンベルト」の設置について
- ・警察署の設置について

### 竹内修議員

- ・災害時の要援護者等への対応について



改革クラブ  
河島三奈議員

神戸電鉄の今後について

就学前教育について

**質問** 0歳〜3歳の幼児教育について

**答弁** 川島脳科学理論に基づき、一貫した子育て、家庭教育、学校教育を展開している。「いきいき子育て教室」では、今年度から更なる充実を目指し、通常の倍時間を使い幼児教育の講師と共に、親子「脳トレ遊び」を実施。好評を得ている。（教育長）

質問 幼保一体化について

**答弁** 市内の保育園では幼稚園要領に準じて教育が展開され、機能面教育的観点から見ても実質的に幼保一体化されている。こども園化の視点から幼稚園2園に保育機能を備えることも考えられるが、同じ機能を備えるのであれば2園だけを公立のまま置く理由がなくなると考える。よって、市独自の状況、国の動向、入園希望者数の推移を考慮し、望ましい在り方を検討する。（教育長）

質問 経営努力の成果について

**答弁** 経費削減への取組は、駅の無人化、社員の給与カット、ワンマン運転等を行い、増収への取組は、駐車場営業、15分間隔運行、自動改札機の設置等を行っている。取組姿勢は評価するが、成果が上がっているとは言い難い。（市当局）

質問 戦略会議、公的支援について

**答弁** 戦略会議は、存続を左右する極めて重要な会議で、これまで情報の共有化においても非常に白熱した議論が展開されている。神戸電鉄から支援要望もある。今後は、存続に向けた具体的な対応策の議論を進める。しかし、各市町の財政状況等から推測すると自治体から多額の支援を行う事は容易ではない。市民の合意を得た上で、市の更なる発展と鉄道の輸送力向上を目指し、如何にして沿線圏域と連携するかなど、公的資金による支援も含め、様々な角度から検討を進めて参りたい。（市当局）



研政クラブ  
松本英昭議員

高齢者対策について

質問 老人クラブの現状について

**答弁** 「小野市老人クラブ等社会活動促進事業補助金交付要綱」に基づき、市から補助金を交付しているクラブ数は、平成23年度で55クラブ、会員総数は3,428名です。

質問 老人クラブの育成支援について

**答弁** 老人クラブ及び市老連が、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じて、高齢期の生活をより豊かなものにして頂けるよう、活動実態に則して育成と支援に努めてきました。また本年度から、高齢者の方々が地域の公民館に気軽に集まって頂き、趣味や娯楽などを通じて生きがいづくりを再構築するため「高齢者等地域活動拠点づくりモデル事業」を推進しています。

質問 老人クラブ補助金の見直しについて

**答弁** 市内55の老人クラブの内、13

クラブが市老連に加入されておらず、この状態で推移すれば、近い将来、市老連の弱体と活動の縮小化が速度を増し、結果、全体的な衰退が懸念される状況にある事から、未加入クラブに対し加入の意志等を確認の上、結果をふまえ、補助金本来の趣旨や目的に照らし、そのあり方を見直すことにしています。（市当局）

質問 老人クラブ衰退の原因は。

**答弁** 各町にはリーダーは多くおられるがリーダーシップを発揮されるリーダーは減少している。（市長）

質問 補助金カットにより問題が解消されるか。

**答弁** 市民も意識改革をして頂き強いリーダーシップの下に活性化が計られ、成果と実績のあるところに対し市も力一杯支援します。（市長）

質問 各町老人クラブに於いて複数クラブへの助成は可能か。

**答弁** 同一町によつては、つながらずや最寄等もある事から、条件をクリアすれば認めています。（市当局）





日本共産党  
藤原 章 議員

放課後の児童の見守りにつ  
いて

近年、核家族化、共働きの一般化、ひとり親家庭の増加などで、放課後の児童の見守り体制が一層重要になっているので問いました。

**質問** 放課後の児童の見守りについてどう構想しているか。

**答弁** アフタースクール事業、おの育児ファミリースポーツセンター事業、登・下校時の見守り、安全安心パトロールなど、行政、地域、保護者等が連携して、行政依存でも住民まかせでもない各種の施策を組み立てる必要がある。地域密着型のアフタースクール事業の展開が考えられるので、平成18年度に事業支援のため「小野市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱」を定めている。

**質問** アフタースクールの定員増加や対象年齢引き上げを考えないか。

**答弁** 子どもの心身の成長、スペース確保の困難さなどがあり、定員増加、対象年齢の引き上げは考えていない。  
(市当局)

「空き家・廃屋対策」について

**質問** 昨今増えている空き家・廃屋対策の小野市の状況について問う。

**答弁** 平成20年の小野市の全住宅戸数は18,370戸で、うち空き家の総数は1,770戸となっている。ただし、一般的な戸建て住宅に限定すると600戸で、空き家率は4.5%。5年前の4.2%から0.6ポイントの微増です。また、600戸のうち、建物の機能が損なわれていない空き家は470戸あります。この住宅の有効活用については、行政、地元自治会、不動産業界の協力と連携が不可欠と考えています。将来的にはこの3者が協力し、情報をより広く公開し、活用希望者には不動産業者が対応するといったシステムを構築すべきと考えています。なお、このようなシステム構築の基礎となる空き家の正確な情報を把握すべく、今年度、国の緊急雇用対策事業により、調査します。  
(市当局)

空き家・廃屋に関しては安全面、環境面、地域の活性化の3点から考



市民クラブ  
山中修己 議員

える必要がある。これらを大局的観点から論議していきたい。  
(市長)

小野市で行われたプロゴルフ大会の成果について

**質問** 活性化や経済効果について

**答弁** 今年度行われた2回のプロゴルフ大会には、延べ2万5千人のギヤラリーがあり、飲食、物産販売、電車やホテルの利用などで、経済効果は約6千万円と試算しています。また、小野市を広くPRでき、有形無形の効果もありました。  
(市当局)

**質問** ジュニアゴルファー育成プロジェクトについて

**答弁** 10月に開催される、ジュニアゴルフアー育成プロジェクトは、地元小学生でゴルフ未経験の子どもたちを対象にゴルフの楽しさや、ゴルフマナー等を学ぶ教室で、今後は今回を契機に、ゴルフを通じたスポーツ活動の推進をしていきたい。  
(市当局)

ジュニアゴルファーの育成については1つの提案として受け止めておきます。  
(市長)

原発事故と自然エネルギーの普及について

福島原発事故は、放射能事故の恐ろしさを示しました。原発から撤退し、自然エネルギーへの転換を図る立場で問いました。

**質問** 公共施設に、自然エネルギーを利用した発電設備を設置する考えはないか。

**答弁** 新たに建築する公共施設には、太陽光発電設備の設置を検討したい。事業規模、内容等、費用対効果をよく検証して取り組みたい。

**質問** 個人への補助の状況と今後の推進方策を問う。

**答弁** 本市は北播磨管内で一番早く平成22年度から太陽光発電に補助金を交付している。平成31年度末までに1千戸を目標に支援していきたい。現在、国・県・市の補助を合わせると、3.5kwの設備を設置した場合、設置費用の約18%で、12年程度で「元がとれる」見込み。  
(市当局)



小野市民病院について

**質問** 本年10月から開設する「血液内科」の内容を問う。

**答弁** 北播磨地域で初めての専門医が常駐する血液内科を設置いたします。悪性リンパ腫・白血病・骨髄腫と言いつわゆる「血液のがん」や血友病、貧血、血が止まらない病気など、血液やリンパに関わる病気を治療する。血液疾患をお持ちの多くの患者に対して適切な医療の提供を行いたいと考えています。(市当局)

**質問** 跡地利用について

**答弁** 基本的な考え方は①市民の財産である病院の土地・建物を有効利用する。②「安全安心に暮らせるまちづくり」に寄与する。③民間法人等への売却処分を前提に後の世代に負債を残さない。

新たな事業主体によって、医療療養型又は回復期リハビリテーション

市民クラブ

藤本修造議員

を中心に、急性期の治療を終えた患者が帰宅されるまでの一定期間、療養して体力を回復していただく役割を果たせる病院が適切と、現時点では考えている。さらには、老人福祉施設や老人保健施設、高齢者向け住宅の併設なども考えられるところがあります。(市当局)

学校空調設備の整備について

**質問** 287教室の空調整備の成果を問う。

**答弁** 6月24日から運用開始した。子どもたちが集中して学習に取り組みようになった。特に、水泳の後や午後の授業は、顕著に集中力が高まった。熱中症の症状を訴えた件数は「0件」。

さらに給食センターからは、「給食を残さず食べる子どもたちが増えた」。また養護教諭からは「鼻血を出す子どもが減った」等々成果の報告があります。(教育長)



高坂純子議員

女性特有のがん検診の受診率向上について

**質問** 平成20年度の県内における小野市の乳がん・子宮がん検診受診率は、29市12町の中で、ともに20位だが今後の数値目標は。

**答弁** 「兵庫県がん対策推進計画」の目標受診率50%以上を数値目標としている。本市は22年度乳がん検診受診率21.5%・子宮がん検診受診率18.1%で、県下の平均受診率を上回っている。職域での「がん検診」、「人間ドック」による推計受診率を加えると、目標に対する受診実績値に大きな乖離はないものと捉えている。(市当局)

**質問** 子宮頸がんワクチン接種率が33.9%と低いようだが、集団接種などできないのか。

**答弁** 集団接種はデメリット部分が多く、今後も、個別接種の方法で実施したい。(市当局)

**質問** 新種のワクチンが出て2種類になったが。

**答弁** 保護者と主治医との相談で選択し決めて頂きたい。(市当局)

神戸電鉄粟生線存続について

**質問** 小野市内の高校へは667人、三木市内の高校へは788人が電車通学(8月に調査)しており、存続は必要不可欠であるが、どのようにお考えか。

**答弁** 利用者のうち通学定期の比率は40%と高く、とりわけ高校生が重要な顧客です。粟生線は、なくてはならない交通手段であり、維持存続に向けた取り組みは、自治体の重要な役割です。(市当局)

**答弁** 粟生線存続戦略会議にて、具体的にどうすれば経営改善が進められるかなど、私案も伝え議論を進めていきたい。神戸電鉄は、12月末に方向性を決めると新聞発表されたが、我々も、年内までに何らかの具体的な案を出す。(市長)



市民クラブ  
岡嶋正昭議員

総合計画の「基本構想」について

**質問** 健全な財政状況を維持するため、この先の人口減少（少子高齢化）しかも、生産年齢層の減少が予測される状況下での、今後の取組について

**答弁** 将来人口を現状維持の50、500人と設定。生産年齢人口の減少と高齢化の進展に伴う税収の減少、及び高齢者福祉関連経費等の増加等については、地方交付税制度の財源保障機能により、一定のサービスを維持できる仕組みは出来ているものの、健全財政を維持するには、従来型の行政運営からの脱却も求められています。本市では既にいろいろな施策により「市民力・地域力」の向上を図る施策を展開しています。今後、本市では、北播磨総合医療センターの建設、新都市中央線の整備、学校の整備等への投資を踏まえても、10年後には基金60億円以上、地方債

は最大で180億円で、平成16年度のピーク時程度を維持できる見通しです。  
(市当局)

**質問** 定住人口の増加に向けた住宅政策の充実のための対策について

**答弁** 土地区画整理事業は、人口増に大きく期待できる事業であり、現在、黒川西土地区画整理事業に取り組んでおり、次の候補地への取組への勉強会も行っている。今後、空き家ストックの循環利用と住み替え情報提供、及び住宅取得支援制度の有効活用を図るとともに、小野市への居住誘導を図ります。  
(市当局)

**質問** セレモニーホールについて

**答弁** 北播磨で最大の400人が参加可能な規模のホールを備え、いろいろな規模の葬儀に対応でき、初七日、法要にも利用できます。また、幅広い宗教・宗派の葬儀形態にも対応できます。運営方針は、良質なサービスの提供、低廉な料金設定を基本にし、営業は365日、24時間対応で受付をされます。  
(市当局)



中井澄夫議員

「道路グリーンベルト」の設置について

**質問** 歩行者の安全対策として、学校周辺や通学路等における道路グリーンベルトの施工実績と今後の計画について問う。

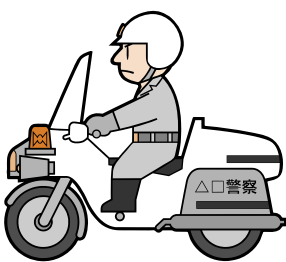
また、計画的実施手段として、昭和町から河合小学校に向かう市道236号線及び市役所に近接する市道5002号線の施工計画について問う。

**答弁** 市内の小学校周辺道路に「文」マークの地下13カ所と、大部小学校前の市道107号線に、横断歩道強調のため面的舗装をしていますが、グリーンベルトとしての施工実績はありません。現在、市道5002号線（福祉総合支援センター前）については、施工を予定しています。今後、有効な施工場所の選定と管理コストの効率性を考え施工していく必要があると考えます。  
(市当局)

警察署の設置について

**質問** 警察署設置の為に用地取得の進捗状況について問う。また、現在小野警視派出所に併設の王子交番の移転が必要となる場合や、かねてより育ヶ丘町に交番設置を望む声を聞くが、これら交番設置が仮に決定した場合、警察署同様に市として用地確保の考えがあるかについて問う。

**答弁** 小野警察署設置予定地については、中島町内でエクラ北側の土地約5,500㎡です。地権者と仮契約を締結しております。  
市内全体の交番のあり方については、小野警察署の規模・体制が決定した後、警察で再検討されると思いますが、そのような中で検討したいと考えています。  
(市当局)





災害時要援護者登録について



公明党  
竹内 修 議員

**質問** 先頃、小野市地域防災計画（地震対策編）が修正されました。災害時要援護者登録をされた方を含め災害弱者に対し、自助・共助・公助の基本的な対応を伺います。

**答弁** 先ず、防災計画ですが、地震災害（想定震度6強）による被害を想定し、地域防災計画（地震対策編）を策定しています。その後の昨年5月に、山崎断層帯の主部南東部地震の想定では、本市は最大震度7との予測が発表されました。近く県から被害想定が発表される予定であり、本市は、これらを受けて防災計画を見直す予定です。

次に、災害時要援護者の登録状況は、本年9月現在、565人です。この情報は、本人の同意のもと、自主防災組織・消防本部・市民福祉部など関係団体へ提供し、災害時の支援に備えています。

次に、要援護者の支援ですが、災害発生時には消防・行政が機能しないという事態を想定し、自主防災組織や民生児童委員など地域の人たちに情報提供し、災害時の支援に関する仕組みづくりを依頼しています。

災害時には、行政も可能な限り最大限の対応をしますが、先ず、自分の身は自分で守る。次に、自分のまわり・家族を守る。次に、隣近所や地域のことを助け合う。つまり、「自助・共助」が基本です。また、知識や経験が役立つことから、防災訓練等への参加による意識の醸成や人と人との絆づくりも重要です。

次に、傷病者への対応ですが、医療・救護計画に基づいて行います。一方、傷病者の病気の既往歴、薬の処方箋、緊急連絡先など医療情報を把握して適切な治療を行うため、「緊急医療情報キット」のあり方や導入に向けた仕組みづくりについて、現在検討しています。

（市当局）

議会の傍聴にお越しく下さい。

12月定例会日程

12月定例会は、下記の日程で開催いたします。

11月30日(水) 10時～ 本会議(第1日)      12月16日(金) 10時～      本会議(第2日)  
12月19日(月) 10時～ 本会議(第3日)      12月26日(月) 13時30分～ 本会議(第4日)

○本会議の第2日(16日)、第3日(19日)は、議員の一般質問があります。  
市長から提出された議案や、市政全般について一般質問を行い、市長及び市の幹部が答弁します。

傍聴者の休憩室を開設します

本会議を傍聴に来られた市民の皆さんに、本会議の休憩時間をくつろいでいただけるよう、議場の隣接会議室を利用して、休憩室を設けています。

休憩室の設置は、一般質問のある16日(金)と19日(月)の2日間です。部屋には、セルフサービスのお茶も用意しています。



託児コーナーを開設します

12月16日(金)  
12月19日(月)



○一般質問が行われる16日(金)、19日(月)の午前中は、「託児コーナー」を開設します。就学前までのお子さんをお持ちの保護者の皆さんも議会を見ていただくことができます。ご希望の方は、12月8日(木)までに議会事務局まで電話でお申し込みください。

# 常任委員会の審査報告

## 《各常任委員会に付託された議案》

### ◎総務文教常任委員会◎

- 議案第46号 平成22年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 議案第47号 平成22年度小野市都市開発事業会計決算の認定について
- 議案第51号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第3号）
- 議案第53号 平成23年度小野市都市開発事業会計補正予算（第1号）
- 議案第54号 小野市やすらぎ広場の設置及び管理に関する条例の制定について
- 議案第55号 小野市北条鉄道経営対策事業基金条例の制定について
- 議案第56号 小野市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第59号 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  
- 議案第62号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第4号）
- 議案第63号 土地の取得について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。



### ◎民生地域常任委員会◎

- 議案第46号 平成22年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 議案第48号 平成22年度小野市病院事業会計決算の認定について
- 議案第49号 平成22年度小野市水道事業会計決算の認定について
- 議案第50号 平成22年度小野市下水道事業会計決算の認定について
- 議案第51号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第3号）
- 議案第52号 平成23年度小野市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第57号 小野市開発事業に係る調整及び地域のまちづくりの推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第58号 小野市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第60号 土地の取得について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。



9月定例会の提出議案審査付託について、9月28日に総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第46号から議案第60号、議案第62号及び議案第63号の17議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

## 常任委員会とは？

常任委員会は、地方自治法第109条の規定に基づき条例により設置されています。地方公共団体の幅広い事務を調査するため、本議会から付託された議案や陳情等の審査をします。

# 平成22年度決算総額 356億円

※一般会計、特別会計及び企業会計の総額



## ◎実施した重点項目

- 「安全・安心社会の推進」
- 「子育て支援」
- 「教育環境の整備」
- 「環境にやさしいまちづくりの推進」
- 「地域活性化の推進」

基金(預金)残高 77億7千万円  
(前年度から約3億5千万円の増加)

地方債(借金)残高 138億4千万円  
(前年度から約1億3千万円の減少)

実質公債費比率:13.1%

※税金や交付税など自治体の収入に対する借金返済費用の割合

※早期健全化基準:25% 財政再生基準:35%

将来負担比率:負担なし  
(-18.9%)

※税金や交付税など自治体の収入に対する一般会計が将来支払うべき借金等負担の割合

※早期健全化基準:350%

※県内の市で初めてマイナスを達成

小野市議会では、昨年度に引き続き一般会計、特別会計及び企業会計の決算について、全議員出席による決算研修会を3日間にわたり開催し、詳細な調査を行ったうえで、9月定例会で認定しました。

これは、従来9月定例会において、決算特別委員会に審査を付託し、10月に審査、12月定例会で決算の認定をしておりましたが、一方で、決算の概要は市当局から9月には市民のみなさんに公表されていることもあり、早期に審査するよう改めています。

## 平成22年度 各会計決算を認定

平成22年度 小野市歳入歳出決算の認定について

平成22年度 小野市都市開発事業会計決算の認定について

平成22年度 小野市病院事業会計決算の認定について

平成22年度 小野市水道事業会計決算の認定について

平成22年度 小野市下水道事業会計決算の認定について

### 決算研修会

開催日時	審査した部局名
8月29日(月) 9:00~17:00	総務部、総合政策部、教育委員会
8月30日(火) 9:00~17:00	市民病院、消防本部、水道部、地域振興部、会計課
8月31日(水) 9:00~17:00	市民安全部、選挙管理委員会等、農業委員会、市民福祉部

※研修会には、各部局の部長、課長をはじめ、担当係長クラスにも出席を求め、実施事業等について詳細な説明を求めた。

平成22年度  
決算を認定



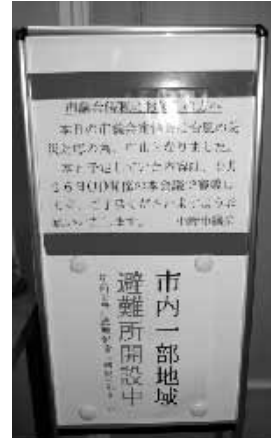
# 台風のため定例会を急きょ日程変更(9月21日を26日へ) ご理解・ご協力ありがとうございました!!

9月21日に予定していた市議会定例会2日目を、台風の接近に伴う防災対応のため、26日へ延期しました。市内の一部地域で避難勧告が発令されていたため、災害への備えを万全に期すための決定でした。

急な変更でありましたが、皆様のご理解・ご協力により、無事開催することができました。ありがとうございました。



26日の傍聴者席



開催延期看板

## ◎ 議会の動き ◎

### 【8月】

- 1日 行政視察来市(岡山県井原市)
- 2日 東播淡路市議会議長会定例会(加西市)
- 3日 全国市議会議長会基地協議会近畿部会総会(舞鶴市)
- 4日 播磨内陸医務事業組合議会(加東市)
- 5日 小野市珠算競技大会
  - ♪ ひまわり園夕涼み会
- 5日～6日 議員特別研修(滋賀県)
- 8日～12日 議員特別研修(滋賀県)
- 9日～11日 市民クラブ・公明党行政視察(鹿屋市・八代市・熊本市)
- 12日 議員協議会
- 16日 民生地域常任委員会研修会
- 16日～17日 全国市議会議長会正副会長会議(旭川市)
- 18日 北播磨総合医療センター企業団議員総会(三木市)
- 20日～21日 小野まつり
- 22日 総務文教常任委員会研修会
- 23日 兵庫県地方議会協議会(神戸市)
- 24日 小野加東広域事務組合議会
- 25日 議会運営委員会・市議会報編集委員会
- 26日～27日 議員特別研修(滋賀県)
- 27日 小野市ひまわり杯少年サッカー大会(三木市)
  - ♪ おおべの荘(ショー)
- 29日 決算研修会(第1日)
- 30日 決算研修会(第2日)
- 31日 決算研修会(第3日)

### 【9月】

- 2日 本会議(1日目)
  - ♪ 北播磨総合医療センター企業団議会
- 5日 地域づくり懇話会(加東市)
- 10日 中学校運動会
  - ♪ 観月茶会
- 15日 議員研修会
- 18日 小学校運動会
- 20日 議員協議会
  - ♪ 議会運営委員会
- 22日 本会議(第2日)
- 26日 本会議(第3日)
- 28日 総務文教常任委員会・民生地域常任委員会
- 30日 本会議(第4日)
  - ♪ 北播政経懇話会

### 【10月】

- 1日 幼稚園運動会
- 3日 世代をつなぐ体育祭
- 5日 民生地域常任委員会研修会
  - ♪ 鹿児島日置市行政視察来市
- 6日 総務文教常任委員会研修会
  - ♪ 埼玉県北本市行政視察来市
- 7日 東・北播磨学ぶ高齢者のつどい
- 11日～13日 全国市議会議長会研究フォーラム(青森市)
- 13日 秋の園遊会
- 17日 近畿市議会議長会支部長会議(姫路市)
- 17日～21日 市町村議会議員研修(滋賀県大津市)
- 18日 金婚夫婦を祝う集い
- 19日 民生地域常任委員会研修会
  - ♪ ふれあい運動会
  - ♪ 埼玉県川越市行政視察来市
  - ♪ 北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合議会(加東市)
- 20日 議会運営委員会
  - ♪ 市議会報編集委員会
- 21日 兵庫県市町正副議長研修会(神戸市)
  - ♪ 小野市研究発表会
  - ♪ 埼玉県久喜市行政視察来市
- 22日～23日 産業フェスティバル
- 24日～25日 全国市議会議長会部会長会議(下関市)
- 24日 自治体病院経営都市議会セミナー(東京)
- 25日 市民クラブ・公明党外行政視察(富士宮市)
- 26日 小野加東環境施設事務組合議会
- 28日 総務文教常任委員会研修会
  - ♪ 民生地域常任委員会研修会
  - ♪ 近畿市議会議長会理事会(姫路市)
- 30日 養父市行政視察来市
- 31日 播磨内陸医務事業組合議会(加東市)

### 自宅にしながら議会の傍聴

インターネットで市議会の  
中継が見られます。



小野市議会HP

↓  
LIVE市議会中継

↓  
市議会中継